

## 特別なご支援を



愛の園を支える会

会長 松沢 力男

### 地域密着型特養のスタート

特別養護老人ホーム「愛の園」では、入所者の定員を増やして出来るだけ多くの方を受け入れ、地域の要望にいくばくかでもお応えしたいと長い間願ってきました。しかし、用地獲得や資金等の課題で、今日まで延び延びになっておりました。このたび神戸市の公募に応募し内定をいただき、今年七月に正式に認可が決定されました。愛の園を支える会もこの時を、首を長くして待っておりました。全室個室で、定員二十九人です。また、企業主導型保育事業キアラ保育室が併設されていて、職員は働きながら、職場の中にある保育室に自分の子供を預けることができるようになっており、しかも経験と実績のある保育士が保育を行います。

### 隣人になる

愛の園は創立者である齋藤信男牧師と溢子牧師ご夫妻が、奥さまに先だたれた盲目の一人暮らしの老人の自殺をきっかけに、老人ホーム建設の使命を与えられたことに始まります。当時、民生委員をしていた齋藤信男牧師に、愛の園の建設という事業が神さまによって与えられたのです。しかし、これを実現することは、並大抵のことではありませんでした。行政との交渉、土地の確保と

建物の建設等々、乗り越えなければならぬ事柄が多くありましたが、今から二八年前にその建物が完成し、老人福祉の働きが始まりました。

その理念は「自分を愛するように、あなたの隣り人を愛せよ(ルカによる福音書一〇・二七)」という聖書のみ言葉であり、そのみ言葉の実践です。強盗にあつた人に慈悲深い行いをした良きサマリア人の如くに、介護を必要としている方の隣人になって、愛をもって、その実践をすることを目指しております。

### 誰でも入れる施設を目指して

特養「愛の園」は、介護保険の指定を受け、入居資格のある方は空きがある限り、誰でもが入れることを目指しております。社会には色々な事情で特養に入所出来ない方も居られます。そのような方には、在宅サービスを織り交ぜながら生活支援を行うなど、入所に到るまでの期間愛の園では、色々な工夫をしております。そして、誰もが安心して入れる施設をめざしております。しかし、その分、施設経営は楽ではありません。

### 愛の園を支える会の役割

「愛の園を支える会」は、特別養護老人ホームを支えるために、主に、ボランティアの募集と財政的支援を行っています。それ故、支える会の役員会は、今回の増築のために、今年から三年間で二千万円を支援することを決めました。この金額は増築部分の総工事費からすると二十分の一にも満たないものですが、皆さまの温かな、心のこもった献金及び寄付は何よりも大きな励ましになります。宜しくご協力下さい。



## 愛の園の新たな出発について

あなたがたのうちに働きかけて、その願いを起こさせ、かつ実現に至らせるのは神であって、それは神のよしとされるところだからである。

(ピリピニ：一三)



社会福祉法人 ぶどうの枝福祉会

愛の園 統括園長 信川恒夫

愛の園の創立者である前理事長齋藤信男に設立のビジョンが与えられたときの聖書の言葉が、このピリピ書第二章一三節です。愛の園の事業は、神様が齋藤信男・溢子夫妻のうちに働きかけて、その願いを起こさせ、神様がよしとされたので、今日まで地域の高齢者を支える事業を続けていくことが出来ました。



この二八年間、愛の園は多くの人たちに支えられ、時代の変化の中で、変わるべきものと変わってはいけないものを見極めながら、運営がなされてきました。

### 建築概要

主要用途	特別養護老人ホーム
敷地面積	5164.67 m <sup>2</sup>
建築面積	586.87 m <sup>2</sup>
延床面積	1512.09 m <sup>2</sup>
構造	鉄骨 3階建て
定員	29名



完成予想図



開設間もない阪神大震災の際には、福祉避難所として多くの方々を受け入れてきました。また、介護保険移行後は介護老人福祉施設として、また高齢者の在宅復帰のなくてはならない施設として、その役割を果たしてきたところです。

◇ 愛の園は、従来型と呼ばれる多床室の四人部屋が中心の特養ホームです。年金生活の高齢者の方々が、安心して過ごして頂ける大切な社会資源です。今回、その隣接地に定員二九名の特別養護老人ホームの建設が、神戸市より認可されました。この増築棟は地域密着型・全館個室でのユニットケアを実施する施設で、団塊の世代の方々のニーズにも応えていく新たな機能が付加されます。この増築棟の整備により、特養入居待機者の選択肢が拡がり、住み慣れた地域で生活し続けるための地域のセーフティネットとしての役割が期待されます。

◇ このプロジェクトは、愛の園の新たな出発です。そして、この計画を実現に到らせるのは神様です。今あらためて、愛の園がスタートした時の思いを心に留め、祈りの中でこの計画を進めていきたいと思います。

### 「特別養護老人ホーム愛の園」の沿革

年 月	沿 革
・平成4年5月	・ 聖書を礎石として「愛の園定礎式」を行い、63名出席
・平成5年5月	・ 神戸市須磨区妙法寺に、「特別養護老人ホーム愛の園」を開設する。定員特養50名、ショートステイ20名、デイサービス15名
・平成7年1月	・ 阪神淡路大震災発生 ・ 地震直後から愛の園は、被害の大きかった東灘・灘・中央・兵庫・須磨の各区より、高齢者を緊急ショートステイの制度により37名を収容する。 ・ 神戸市民福祉振興協会の代替ヘルパー派遣 ・ 須磨区下中島公園、東須磨公園内の高齢者、障害者の被災者のための仮設住宅の常駐支援員として4名を派遣し、安否確認、生活相談、生活支援を行う。
・平成8年7月	・ ホームヘルパー事業を開設する。
・平成10年9月	・ 愛の園デイサービスE型（定員10名）を開設する。
・平成11年10月	・ 在宅介護支援センター愛の園（神戸市長田区長田5丁目）を開設する。 ・ 生きがい対応型デイサービスを開始する。
・平成12年4月	・ 居宅介護相談室（愛の園）を開設する。
・平成13年4月	・ 神戸市立片山デイサービスセンター（定員20名）の運営を受託する。
・平成13年10月	・ 愛の園の定員を特養50名から56名、ショートステイ20名から14名に変更する。
・平成14年12月	・ 天皇陛下より「御下賜金」を賜る。
・平成20年4月	・ ケアハウス松寿園（定員50名：神戸市長田区丸山）を指定管理者制度により運営を開始する。 ・ 名谷愛の園あんしんすこやかセンターと名谷愛の園居宅介護支援センターを開設する。
・平成27年4月	・ 妙法寺あんしんすこやかセンター開設、それと併せて愛の園居宅介護相談室を妙法寺愛の園居宅介護支援センターに改組する。
・令和元年9月	・ 企業主導型保育事業「キアラ保育室」を（定員：9名）開設する。